

(別紙様式4)

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 姫路港・東播磨港港湾脱炭素化推進計画 (案)
意見募集期間 : 令和6年10月11日～令和6年11月1日
意見等の提出件数 : 17件 (7人)

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
姫路港・東播磨港脱炭素化推進計画(案)	(計画本文14ページ) 2030年、2050年のCO2排出量と水素供給量の変化量が比例関係にないと思われるが、理由はあるか。	1	[既に盛り込み済みです] 2050年カーボンニュートラルを目指している各取組において、技術開発が確立されるのに、時間を要します。実現化されれば、加速的に水素供給量が増えると想定しています。
姫路港・東播磨港脱炭素化推進計画(案)	(計画本文13ページ) 瀬戸内、関西との連携は、具体的にどのようなことをかんがえているのか。	1	[既に盛り込み済みです] 兵庫県はもとより、瀬戸内、関西に水素などの供給基地として貢献していく、サプライチェーンの拠点となることを目指していきたいと考えています。
姫路港・東播磨港脱炭素化推進計画(案)	(計画本文13ページ) 副題として、「ファースト・ムーバー」for瀬戸内・関西」が書かれています。意味がよくわかりません。	1	[既に盛り込み済みです] 副題については、兵庫県はもとより、瀬戸内、関西における水素などのサプライチェーンの拠点となることを、いち早く目指していきたいという思いから記載しております。
姫路港・東播磨港脱炭素化推進計画(案)	(計画本文19ページ) 神戸港との連携について記載してほしい。	1	[既に盛り込み済みです] 神戸港とは、お互いの計画(神戸市はCNP形成計画に記載)に、水素の需要供給値を記載し、連携を図っています。
姫路港・東播磨港脱炭素化推進計画(案)	(計画本文19ページ) 神戸港以外の二次輸送は期待できないのか。	1	[既に盛り込み済みです] 播磨臨海地域が、瀬戸内・関西に水素等の供給基地として貢献するサプライチェーンを目指しているため、概要版6ページに記載しているとおり、将来的に神戸港以外への二次輸送も想定しています。
姫路港・東播磨港脱炭素化推進計画(案)	(計画本文26ページ) 協議会に参画している企業はどのようにして選ばれたのですか。	1	[既に盛り込み済みです] 協議会への参画企業は、播磨臨海地域で対象としている範囲のうち、CO2排出量から、脱炭素化への貢献が大きく見込まれること、脱炭素化に積極的に取り組んでいる企業を主に選定しています。

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
姫路・東播磨 港脱炭素 湾素進 化計画 (案)	ブルーカーボンについて触れられていますが、ボリュームが僅かです。ブルーカーボンを活用していくことも計画に加えるべきだと思います。	1	[今後の検討課題] 計画本文28～29ページの将来構想に記載しているところですが、具体的な検討も必要となるため、ご意見については、今後の計画の取組推進への参考にさせていただきます。
姫路・東播磨 港脱炭素 湾素進 化計画 (案)	カーボンニュートラルを取り巻く情勢は変化が速いと思うが、どのようなタイミングで見直しを行うのか。	1	[今後の検討課題] 脱炭素化に資する技術の発展や世界の情勢等を踏まえ、適時適切に見直してまいります。
姫路・東播磨 港脱炭素 湾素進 化計画 (案)	公表された計画は水素の利用が重要とありますが、脱炭素化には再生エネルギーの活用も重要と考えますが、それが計画に反映されているのでしょうか。	1	[既に盛り込み済みです] 太陽光パネルの設置等、再生可能エネルギーの活用も計画に含めております。再生可能エネルギーは天候により供給が左右されるため、鉄鋼業や化学工業等の製造業にすべて導入するには課題があります。そのため、大量かつ安定的にエネルギーを供給するため、水素を想定しており、重要と考えています。
姫路・東播磨 港脱炭素 湾素進 化計画 (案)	2050年のカーボンニュートラルに向けた取組を計画に整理されていますが、それまでには比較的、時間があると思います。計画をとりまとめた後、カーボンニュートラルの実現に向けて、どのような取組を考えられていますか。	1	[既に盛り込み済みです] 水素社会を推進するため、兵庫県では「兵庫水素社会推進構想」の策定や、水素関連産業の立地の促進を図るなど他部局とも連携して取り組んでいます。本計画についても、2050年カーボンニュートラルを目指し、脱炭素化に向けた取組を推進し、機運醸成に繋がればと考えています。
姫路・東播磨 港脱炭素 湾素進 化計画 (案)	播磨臨海地域内の自治体（姫路市・明石市など）で取り組める脱炭素の具体的な取組を追加してほしい。	1	[その他] 具体的な自治体の取組である「ゼロカーボンシティ宣言」を、計画本文28～29ページの将来構想に記載しています。今回の計画策定をきっかけに各自治体の取組が進むことを期待します。
姫路・東播磨 港脱炭素 湾素進 化計画 (案)	今後計画に記載以外の新たな企業が参画したい場合は計画を修正するのか。幅広く様々な取組を計画に載せてほしい。	1	[その他] 今後、企業から新たな参画要望があれば、適時適切に見直してまいります。

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
その他	役所だけでなく、企業の取り組みも含めた計画なので、社会全体としてカーボンニュートラルに取り組む内容となっており、期待しています。	1	[その他] 引き続き官民連携のうえ、計画を推進していきます。
その他	エネルギーを輸入する窓口となっている港で、大きなエネルギーを使う大企業がCO2削減に取り組んでいただけることは、大きな効果があると思います。	1	[その他] 引き続き官民連携のうえ、計画を推進していきます。
その他	極端なエネルギーの転換で、社会の混乱を招くことが心配されるので、一般の人たちに過度に負担がかからないような進め方を要望します。	1	[その他] ご意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。
その他	カーボンニュートラルが進むことで、具体的に日常生活の何が変わるのか？	2	[その他] 電気や都市ガスは、現在、主に化石燃料で作られていますが、水素等に変わることで、日常生活はあまり変わることなく、毎日の暮らしがCO2削減に貢献できるものになると想定しています。